

進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

【模試の活用】

来週末は3年次の初回の模試です。模試の利用法についてはすでにいろいろなところで聞いていると思いますが、卒業生からのアドバイスもふくめ整理しておきます。

①受験時間をめいっぱい使う

模試は練習試合のようなもの。練習試合でできることを精一杯やらないと、本番の大会には役に立ちません。模試の受験中に緊張が切れて寝てしまうのは、練習試合で寝るのと同じ。本番は推して知るべしです。

与えられた受験時間をめいっぱい使うのは、慣れないと結構難しいことなのです。普段からこのための訓練を重ねなければ、身に着けた学力を有効に発揮することはできません。

模試は適当にしておいて本番で合格できると思う人は、部活動でもそれを実践してきたのでしょうか。

②「模試は間違った問題にお金を払っている」

これは某予備校関係者の言です。模試の目的の一つは自分のできなかった科目、分野、弱点を明らかにし、その対策を立てることです。そのためには復習が欠かせません。少なくとも3回(受験当日、自己採点后、成績返却時)問題を解き直しましょう。決して安くはない受験料ですから、模試の問題は使い倒して下さい。卒業生からのアドバイスです。

| 判定 | 模試 | | | | |
|----|----|----|----|-----|-----|
| | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| A | 1 | 3 | 6 | 5 | 5 |
| B | 5 | 5 | 8 | 8 | 12 |
| C | 18 | 10 | 12 | 9 | 15 |
| D | 12 | 17 | 17 | 17 | 14 |
| E | 23 | 15 | 15 | 9 | 12 |

・どの問題をクリアすべきだったかを明らかにするようにした。基礎が不十分なところや苦手科目でのケアレスミスを補っていくようにした。返却された結果を見て、分野別に弱点を補強していくように心がけた。

| 名前 | 模試判定 | | | | |
|----|------|----|----|-----|-----|
| | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| あ | B | B | C | B | B |
| い | C | B | D | A | C |
| う | D | E | D | C | C |
| え | E | D | D | B | D |
| お | E | E | E | E | E |

③判定はオマケ

表2つは第1志望を貫徹して志望校に合格した49回生(60名いました)の、模試での判定結果の推移です。上の表は各回での判定の分布です。6月にはA判定は一人しかおらず、最後の11月回でも70%以上の方がC以下です。D判定またはE判定がつく人が50%を上回るのが毎回でした。下の表は個人の判定の推移の例です。「あ」さんは比較的良好判定が並んでいます(珍しいことです)が、たいがいの人は他の4人のような推移で、上がったたり下がったりします。「お」さんのような横ばいの推移も珍しくありませんがE判定の連続にめげず、第1志望を貫徹しました。(ちなみに「お」さんの合格先は神戸大学です。)むろん5人とも第1志望に合格しました。学力も大事ですが、「めげないメンタル」も受験では必要です。ふたたび卒業生のアドバイスです。

・あくまで「模試は模試」。判定は気にしない。やり直しは受験直後にできなかった問題に付箋をつけておいて1週間後に解き直す。

・判定にとらわれると気落ちする。判定は自分の立ち位置の確認とと思って。